

「新たな防火規制」導入に向けた説明会



日時：平成25年12月20日（金）19：00～ ひだまり友遊会館（老人会館）
平成25年12月21日（土）10：00～ ひだまり友遊会館（老人会館）

内 容

■ 「新たな防火規制」導入に向けた説明

- 当地区におけるこれまでの取り組みの説明
- 当地区の現況と課題の説明
- アンケートの中間報告
- 「新たな防火規制」の説明
- 今後の予定

■ 質疑・意見交換

※おおむね1時間30分を予定

記録として、写真撮影・録音をおこないません。ご了承ください

1. 当地区におけるこれまでの取り組み

「新たな防火規制」の導入検討区域

□ 「新たな防火規制」の導入を検討する区域

対象地区



1. 当地区におけるこれまでの取り組み

地区街づくり計画

- 区役所周辺地区
(H7.4決定、H20.2変更)

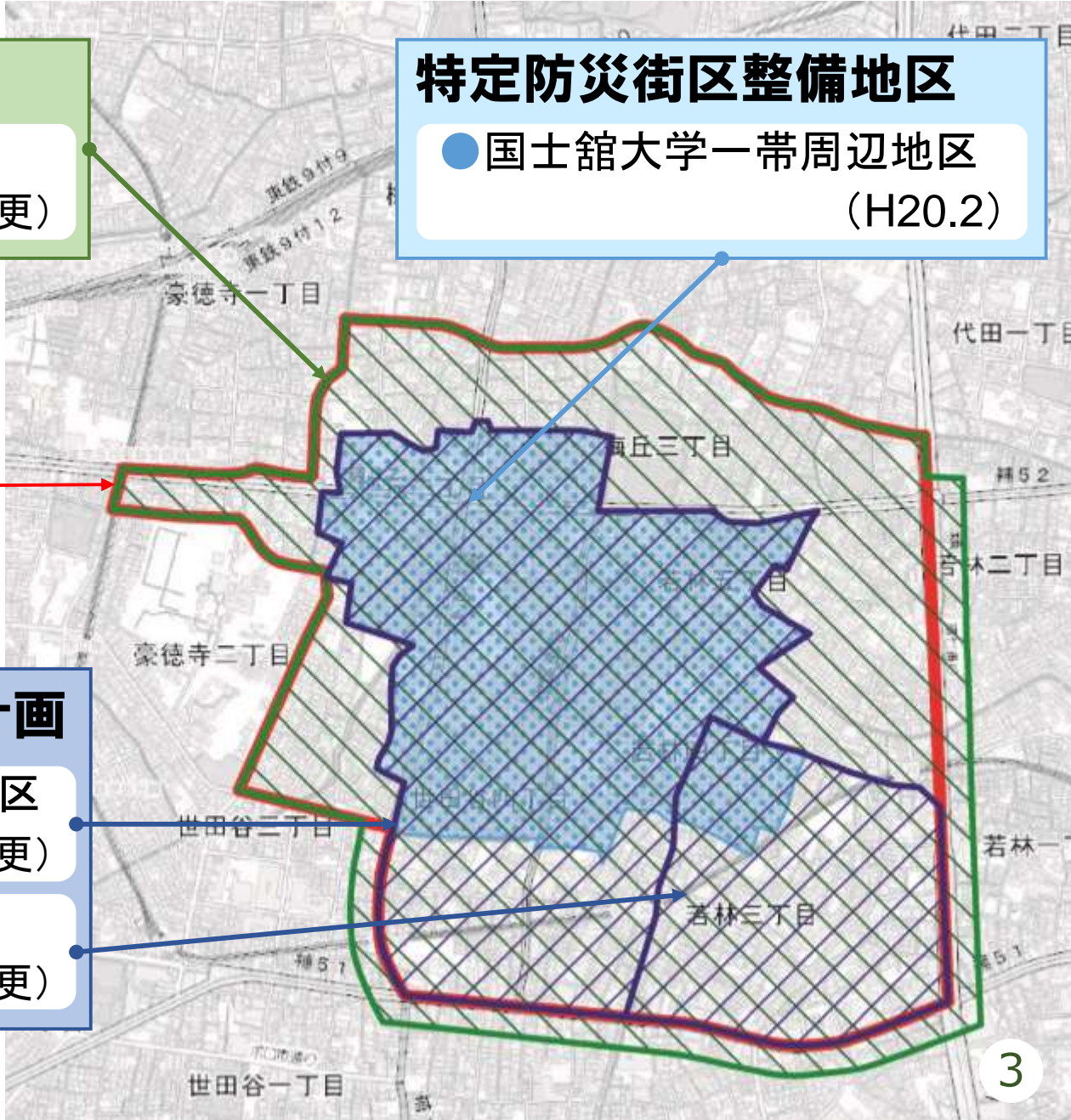
特定防災街区整備地区

- 国士舘大学一帯周辺地区
(H20.2)

対象地区

防災街区整備地区計画

- 世田谷区役所周辺地区
(H16.1決定、H20.2変更)
- 若林3・4丁目地区
(H12.6決定、H20.2変更)



1. 当地区におけるこれまでの取り組み

**都市防災
不燃化促進事業**

街路事業

- 補助154号線
- 松栄会通り

対象地区

木造住宅密集地域整備事業

- 豪徳寺駅周辺地区 (H11~H25)
- 区役所北部地区 (H4~H28)
- 世田谷・若林地区 (S63~H29)



1. 当地区におけるこれまでの取り組み

広場の整備や道路の拡幅



世田谷電車のみえる公園



地区防災施設

1. 当地区におけるこれまでの取り組み

これまでの取り組み

昭和56年	区役所周辺に広域避難場所を配置すること等を目的として、 防災街づくりの取り組みを開始
昭和63年	老朽住宅の不燃化建て替え促進、道路の拡幅工事の実施
平成 7年	区役所周辺地区地区街づくり計画 の策定
平成10年	国士舘大学一帯が広域避難場所に指定される
平成11年	若林3・4丁目地区防災街区整備地区計画 の策定
平成14年	世田谷区役所周辺地区街づくり協議会による街づくり提案の提出
平成15年	区役所周辺地区地区街づくり計画 の変更
平成16年	世田谷区役所周辺地区防災街区整備地区計画 の策定 若林3・4丁目地区防災街区整備地区計画 の変更
平成20年	特定防災街区整備地区 の指定 地区街づくり計画、防災街区整備地区計画の変更

これまで様々な **防災まちづくり** を進めてきた。 6

2. 当地区の現況

「新たな防火規制」の導入検討区域

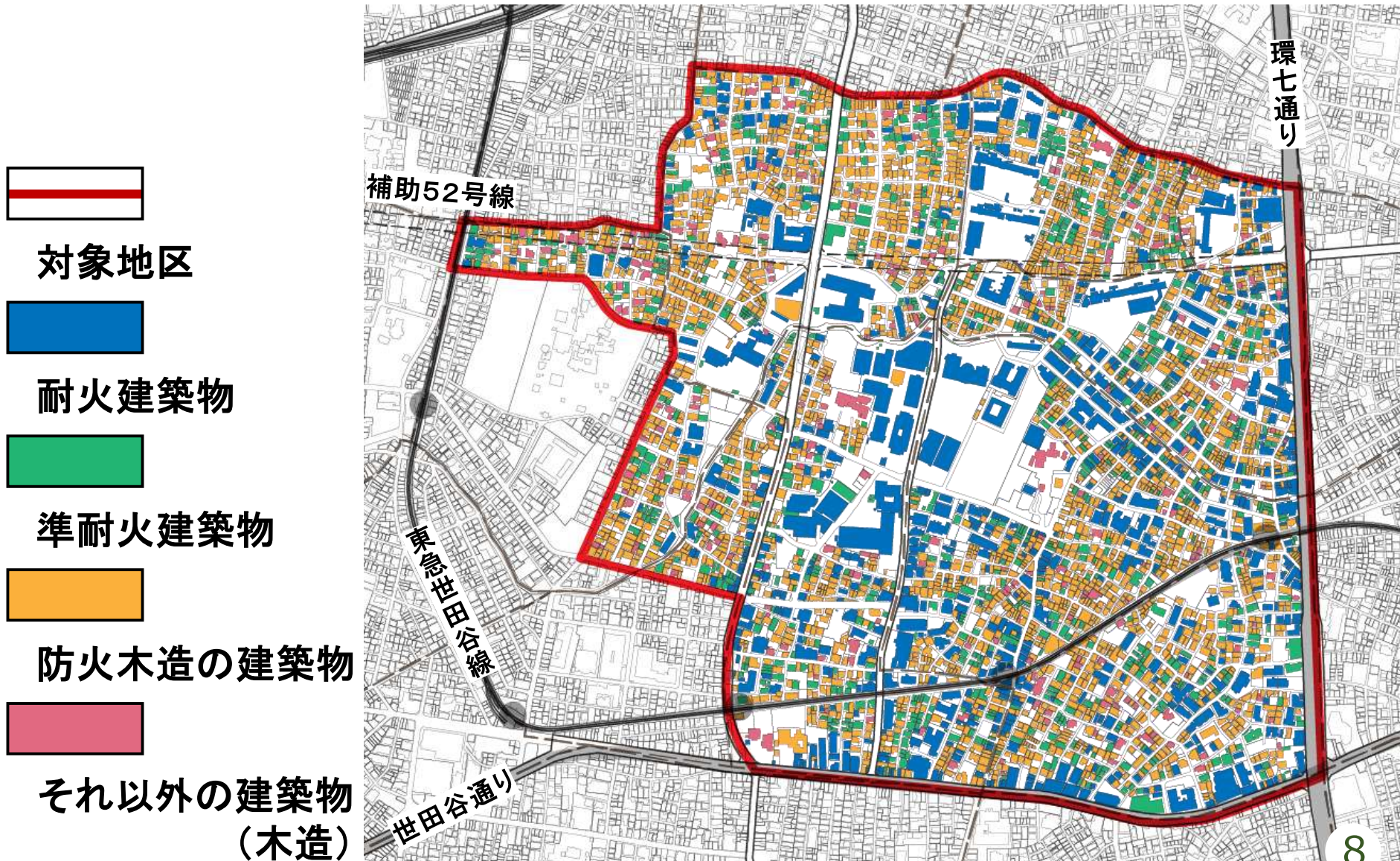


「新たな防火規制」の導入を検討する区域



2. 当地区の現況

構造別建物現況



2. 当地区の現況

構造別建物現況

防火木造とそれ以外の建築物(木造)が
約64%*を占めている。



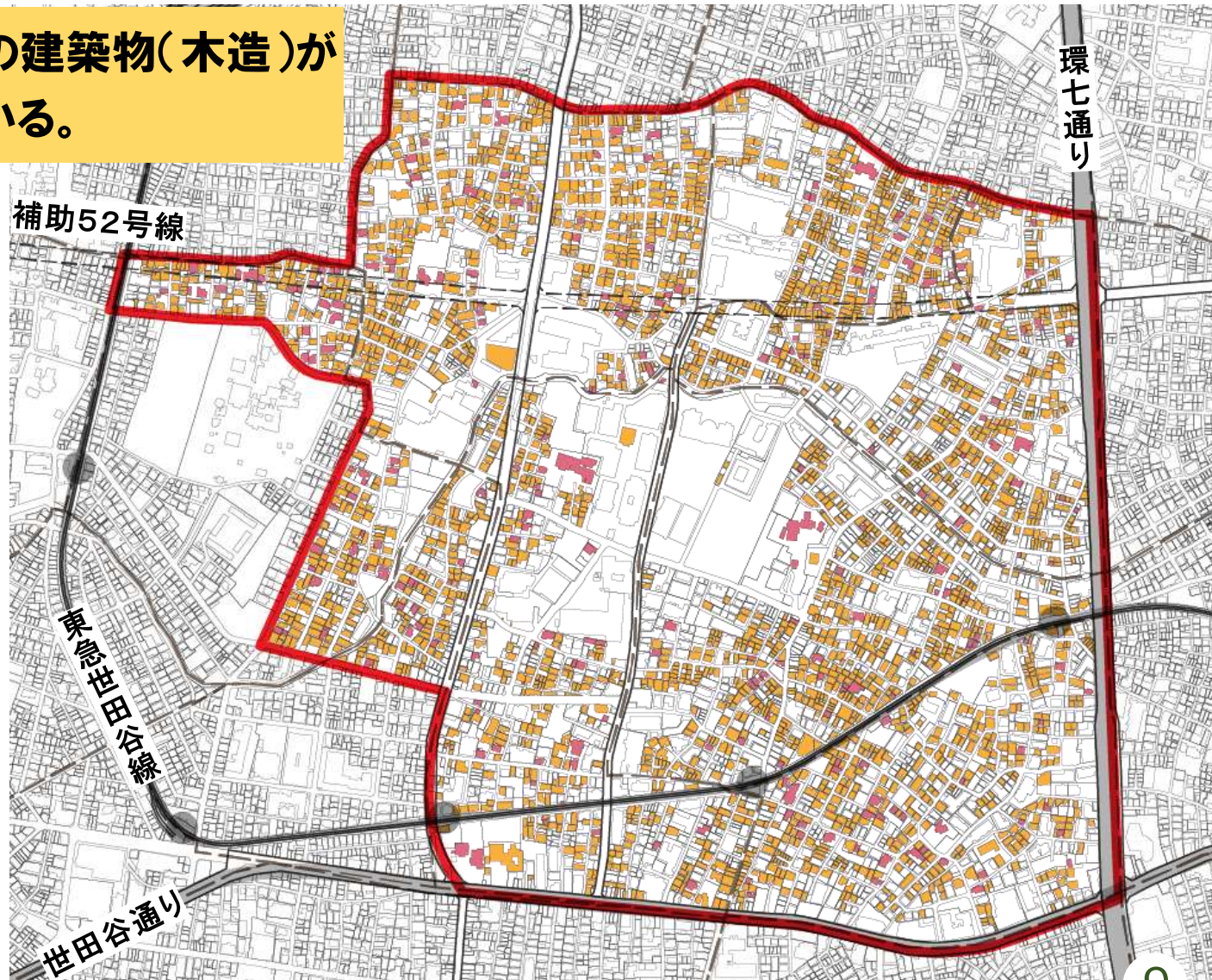
対象地区



防火木造の建築物



それ以外の建築物
(木造)

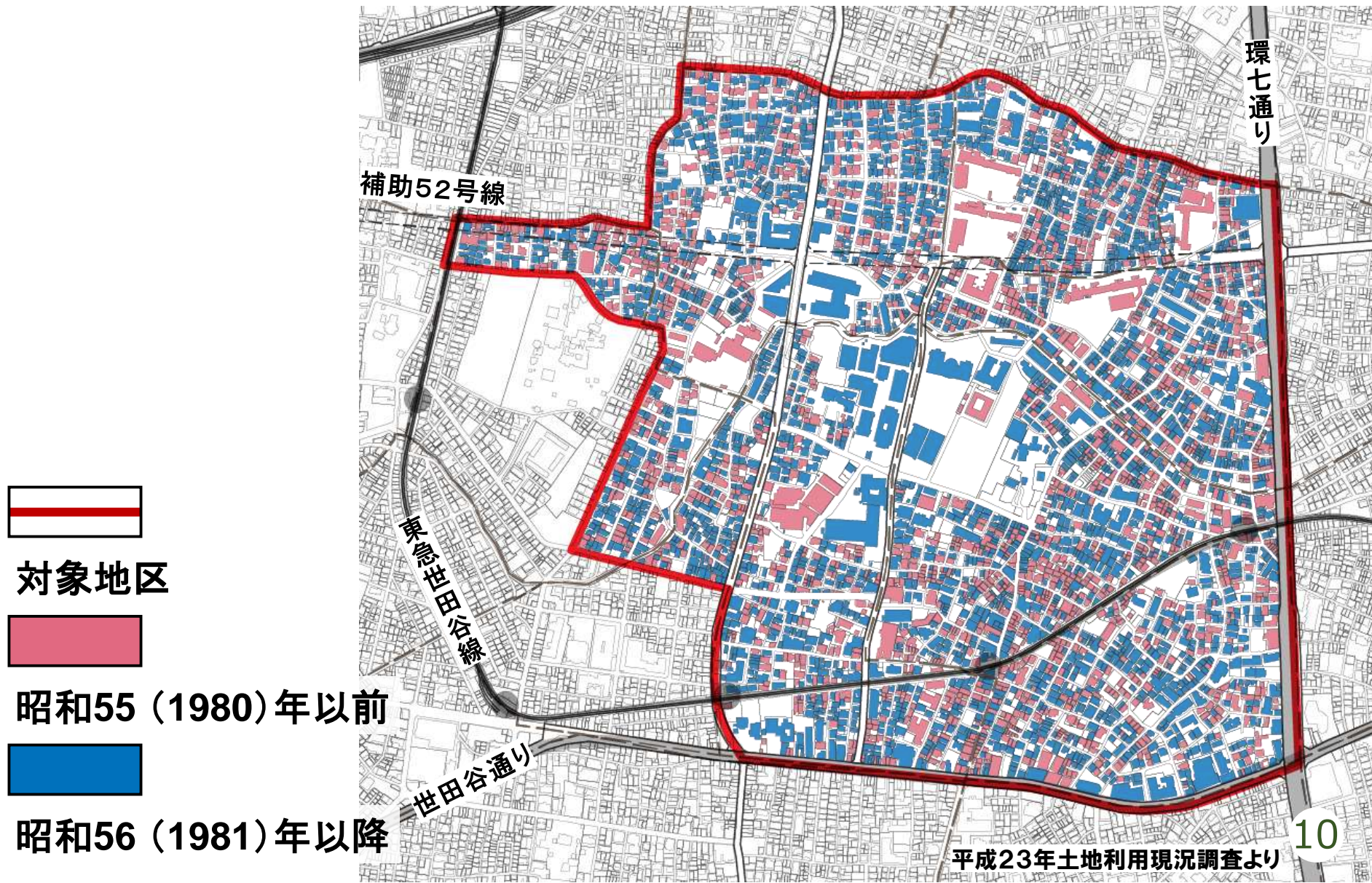


※棟数比

平成23年土地利用現況調査より

2. 当地区の現況

築年別建物現況



2. 当地区の現況

築年別建物現況

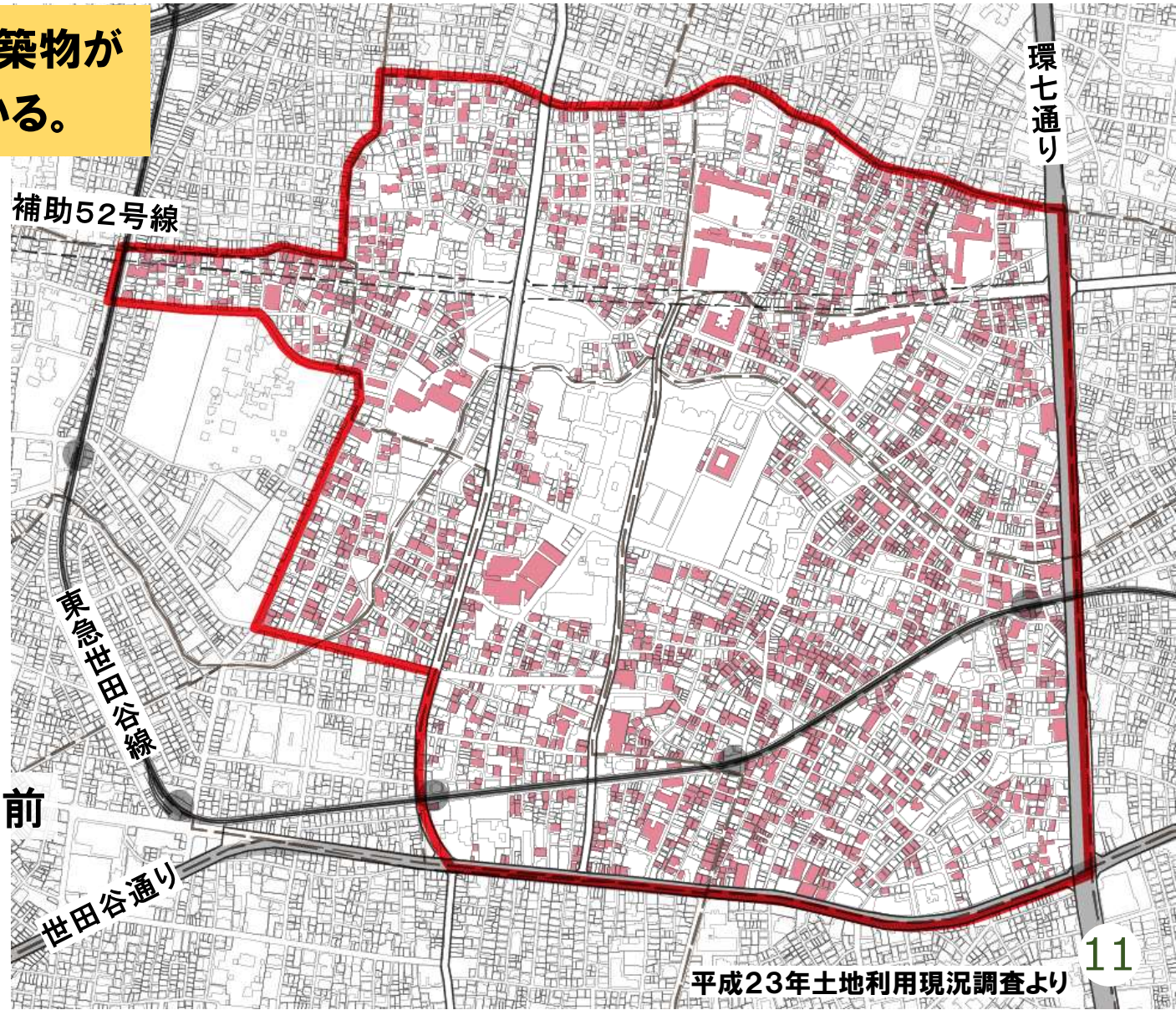
新耐震基準以前の建築物が
約40%*を占めている。



対象地区



昭和55（1980）年以前

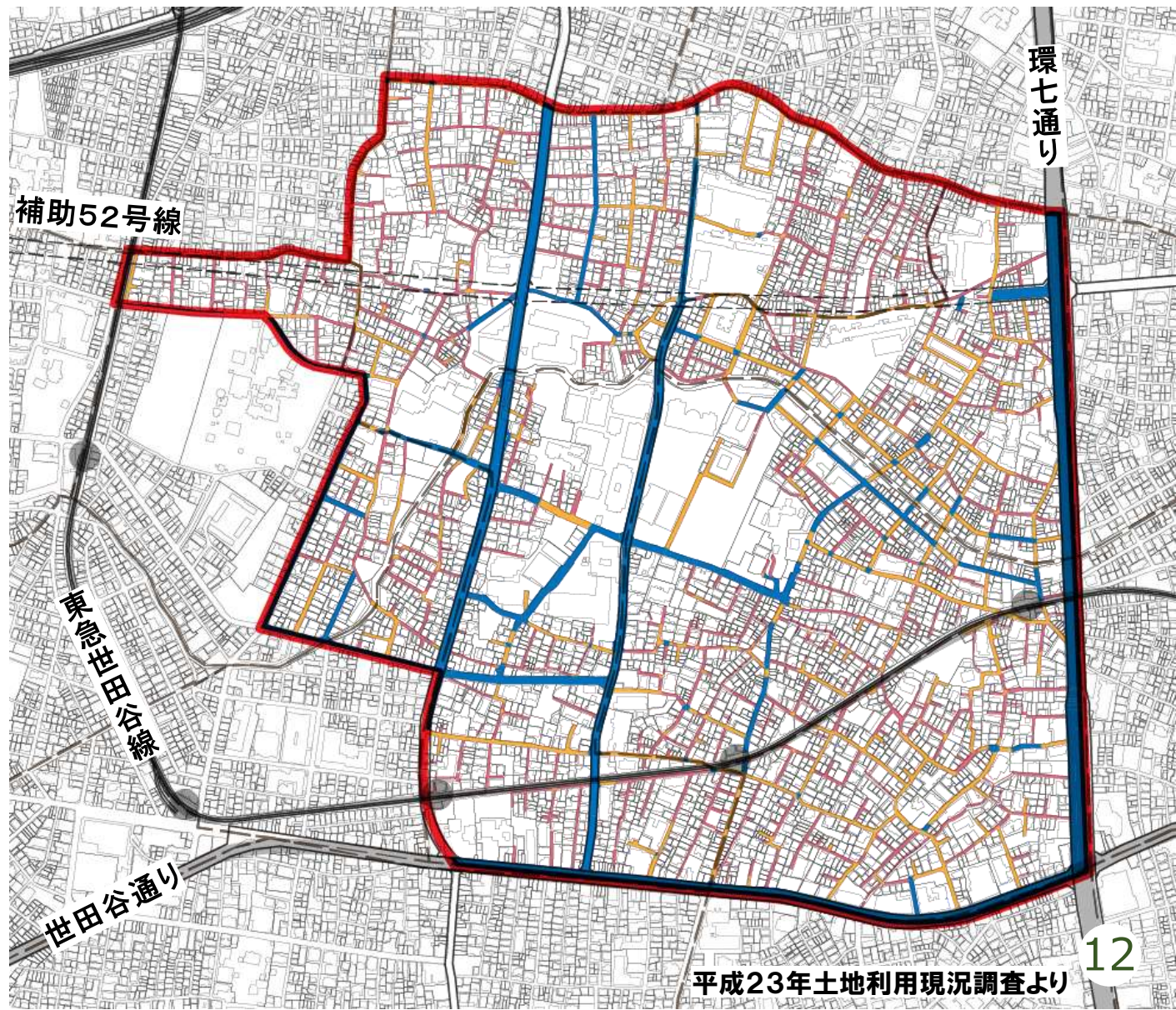
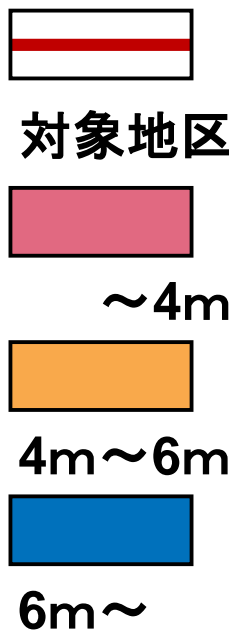


※棟数比

平成23年土地利用現況調査より

2. 当地区の現況

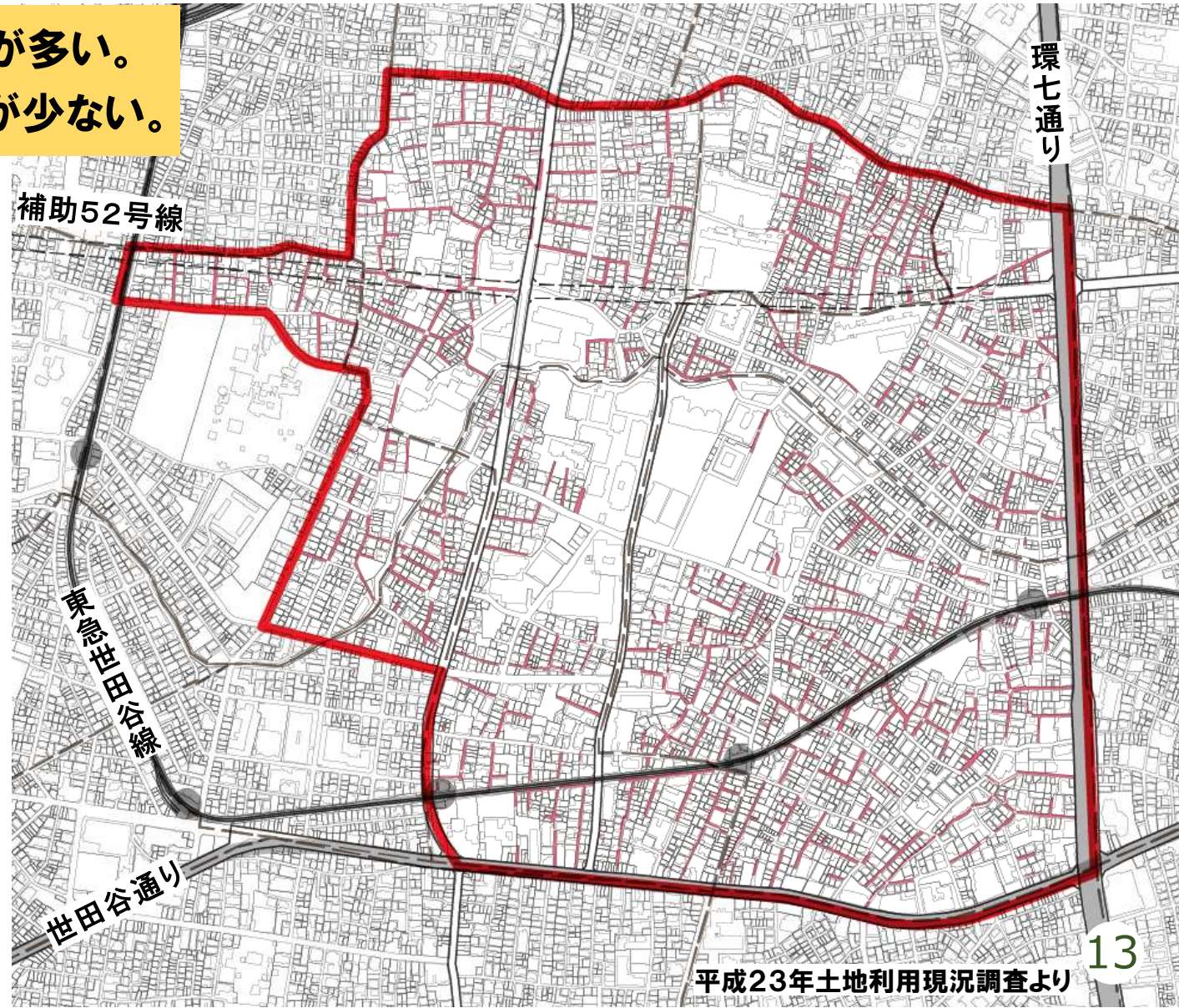
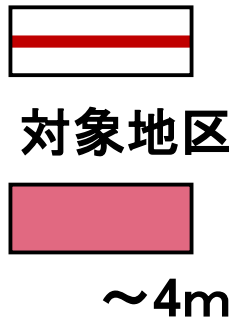
幅員別道路種別



2. 当地区の現況

幅員別道路種別

幅員4m未満の道路が多い。
通り抜け可能な道路が少ない。



3. 当地区の課題

当地区は「木造住宅密集市街地」

当地区は・・・

- 建物が密集して建っている
- 老朽化した耐火性の低い建物が多い
- 街が狭い道路で構成されている
- 広場や公園等のオープンスペースが少ない

➡ 「木造住宅密集市街地」

3. 当地区の課題

当地区は「木造住宅密集市街地」

「木造住宅密集市街地」だと・・・

- 火災が広がりやすい
- 消防自動車や緊急車両が入りにくく、円滑な消防、救助活動が難しい
- 安全な避難経路の確保が難しい

3. 当地区の課題

[参考] 延焼火災による被害の様子



火災の延焼により一帯が焼失(阪神・淡路大震災:平成7年1月17日発生) 16

3. 当地区の課題

[参考] 延焼火災による被害の様子



火災の延焼(阪神・淡路大震災:平成7年1月17日発生)

3. 当地区の課題

延焼シミュレーション

「延焼シミュレーション」

- 現在の建物状況で火災が発生した場合の広がりを模式的に実験しました。

燃え広がり方をご覧ください

※国土交通省等が開発した「防災まちづくり支援システム」を活用

※北北西の風、風速6m/s（東京都第7回地域危険度測定調査と同様の設定）



3. 当地区の課題

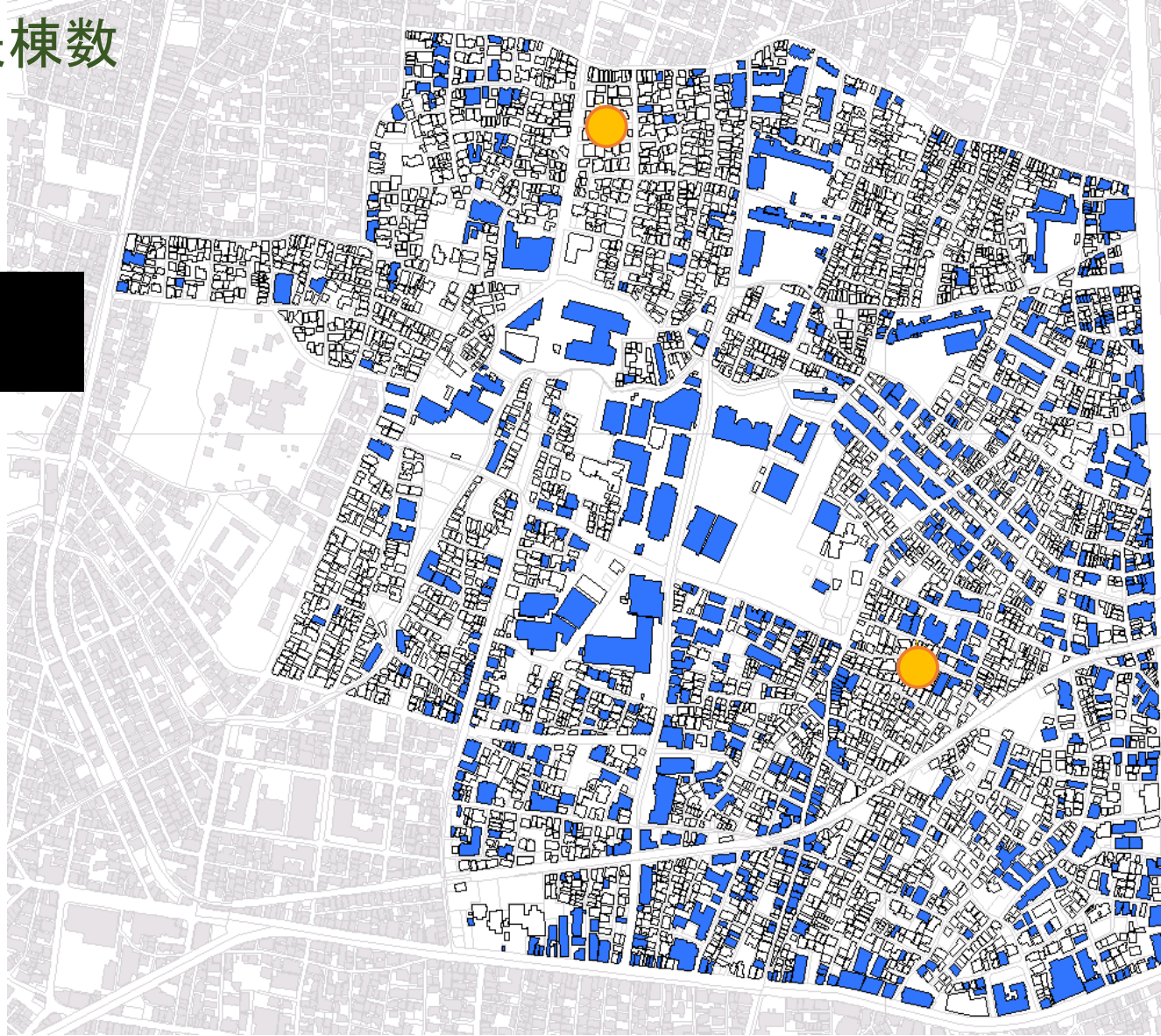
延焼シミュレーション

累計焼失棟数

0棟

0分

-  耐火造
-  出火点



出火点1
0棟

出火点2
0棟

3. 当地区の課題

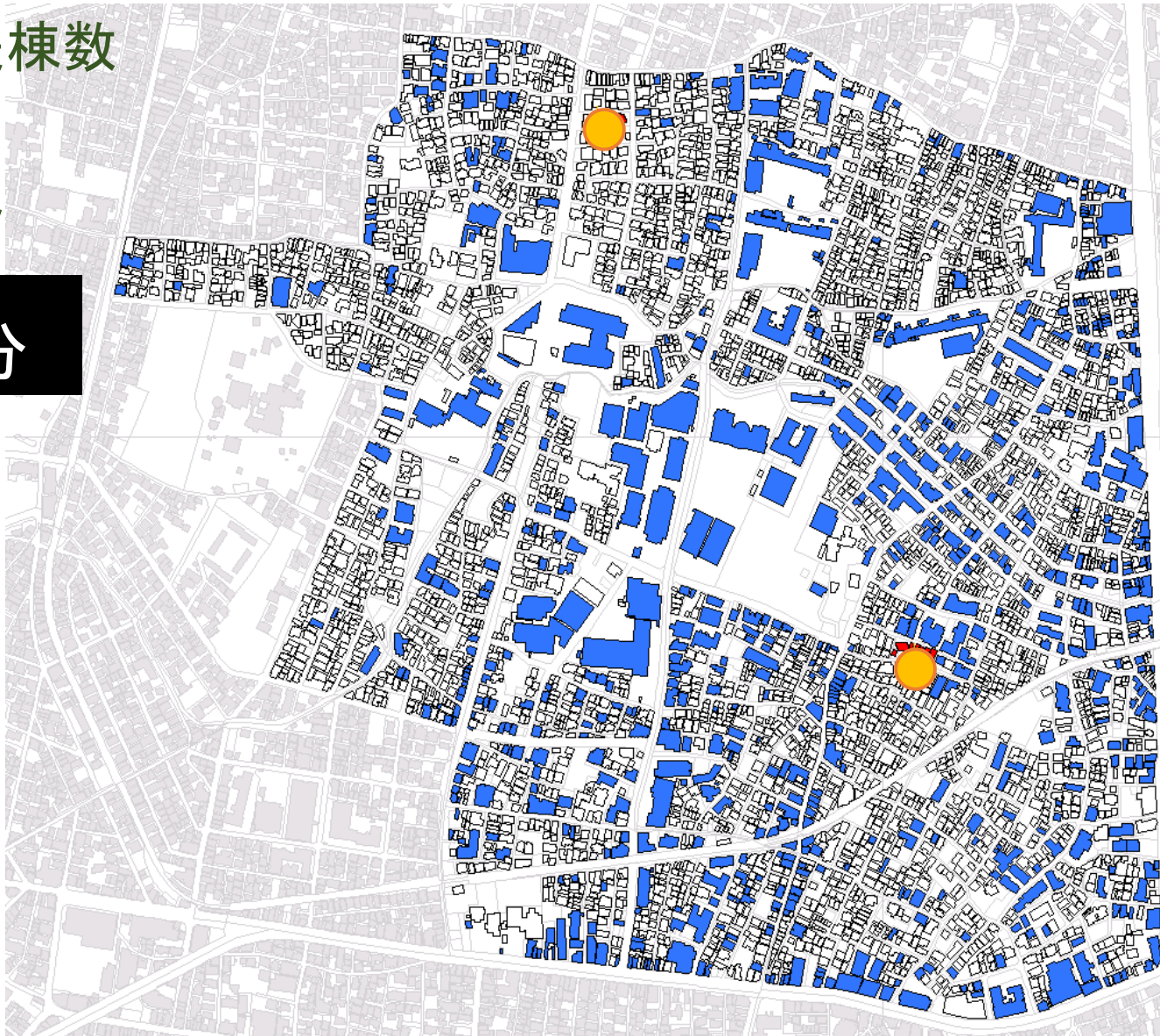
延焼シミュレーション

累計焼失棟数

15棟

30分

-  耐火造
-  出火点



出火点1
7棟

出火点2
8棟

3. 当地区の課題

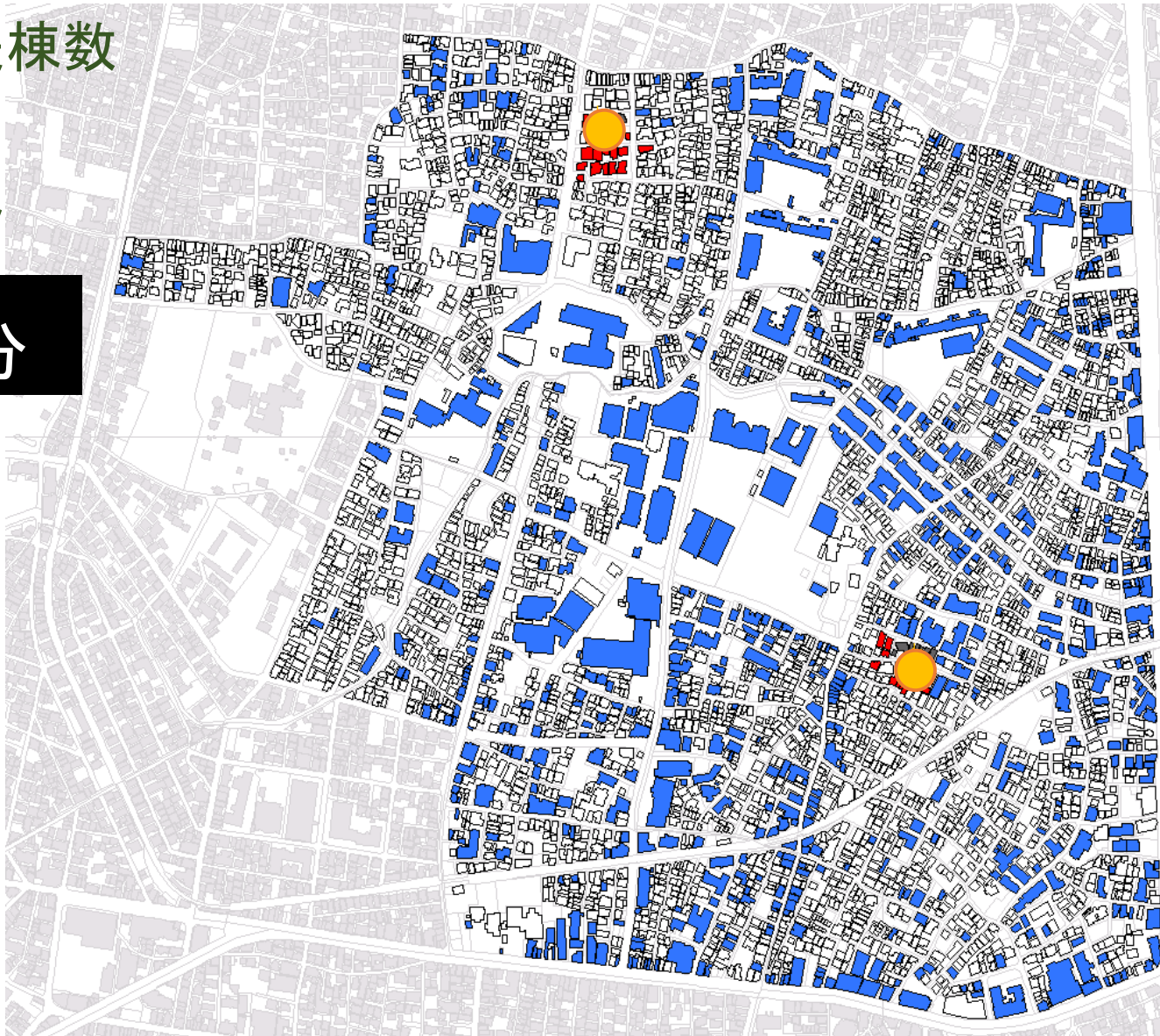
延焼シミュレーション

累計焼失棟数

43棟

60分

-  耐火造
-  出火点



出火点1
23棟

出火点2
20棟

3. 当地区の課題

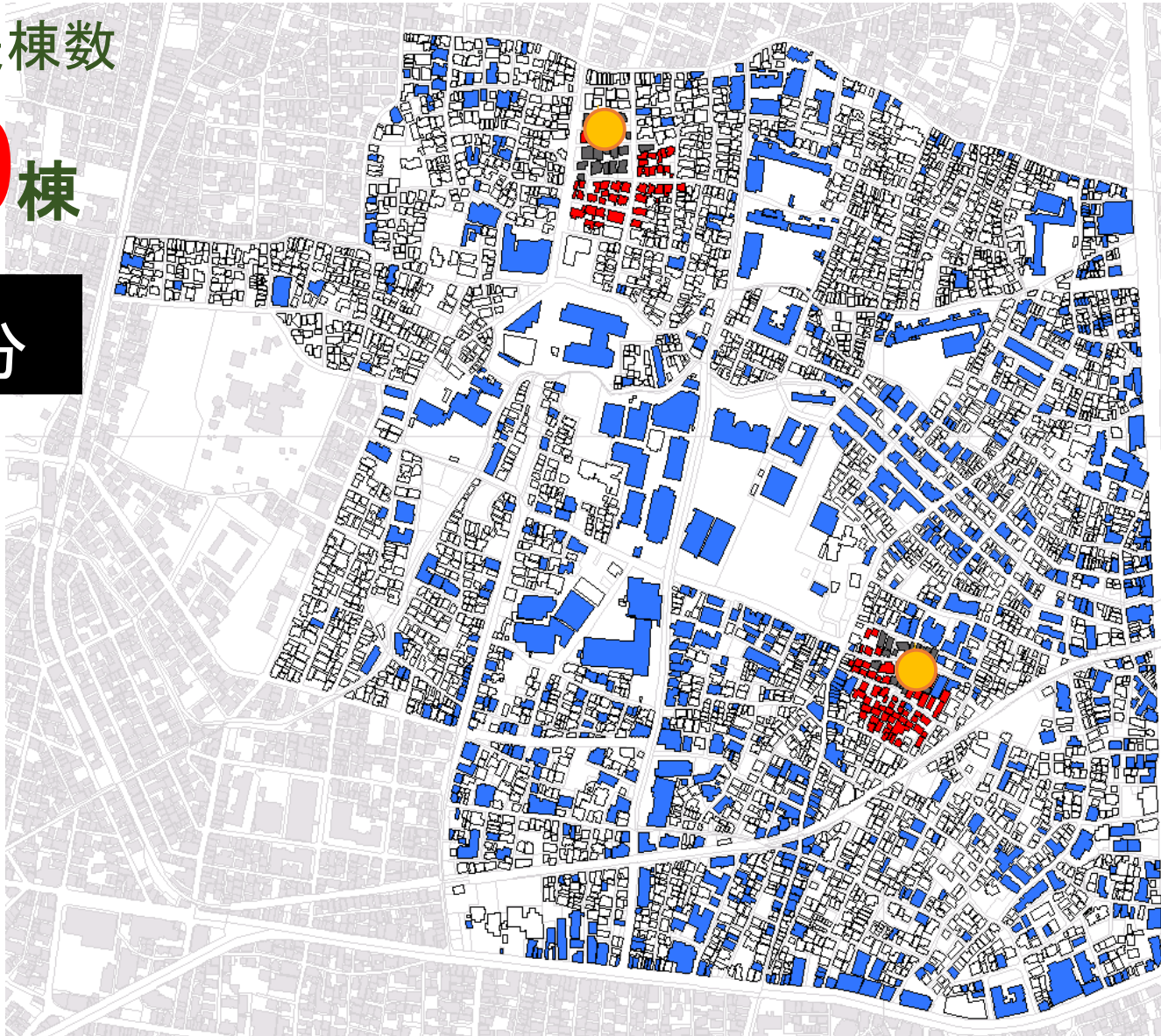
延焼シミュレーション

累計焼失棟数

150棟

90分

-  耐火造
-  出火点



出火点1
66棟

出火点2
84棟

3. 当地区の課題

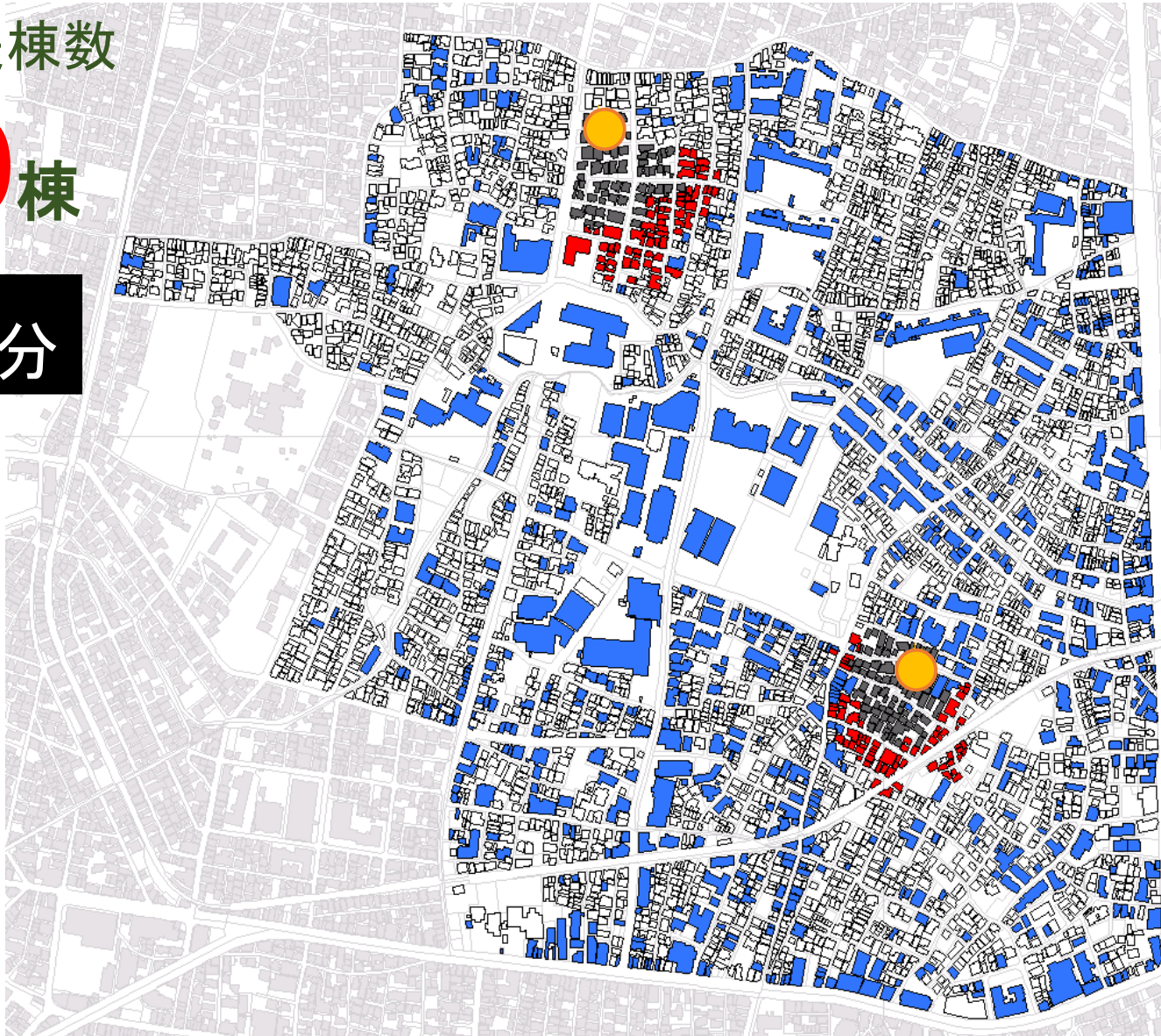
延焼シミュレーション

累計焼失棟数

289棟

120分

-  耐火造
-  出火点



出火点1
133棟

出火点2
156棟

3. 当地区の課題

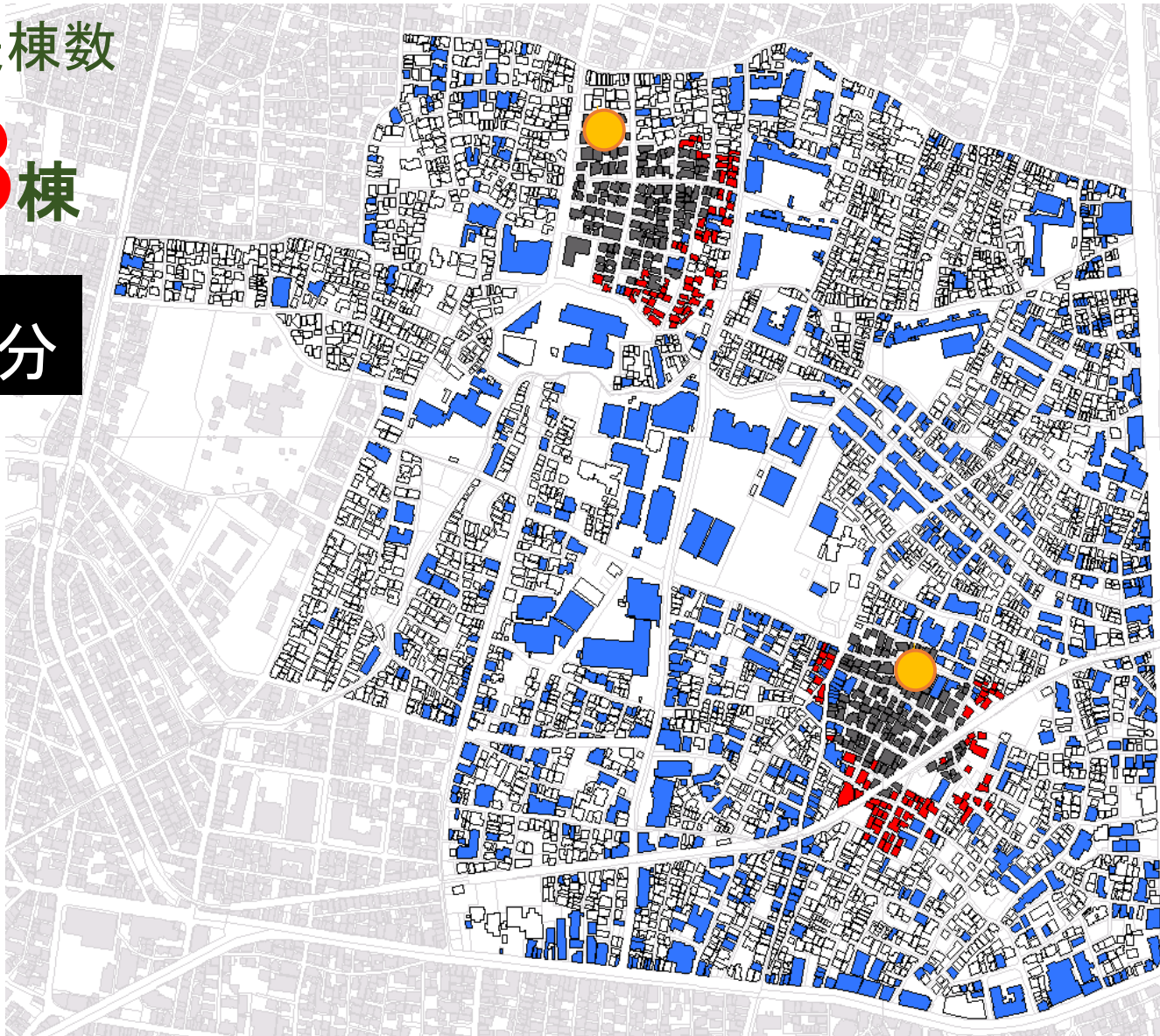
延焼シミュレーション

累計焼失棟数

428棟

150分

-  耐火造
-  出火点



出火点1
199棟

出火点2
229棟